

産業

Industry

江戸時代より九十九里地域の中心地として発展してきた東金市。稲作や野菜栽培などの近郊農業を中心とする農林業、テクノグリーンパークを中心とする計画的な工業、豊かな生活を支える商業。九十九里地域の中核都市として活気あふれる産業が定着しています。

水と自然に育まれた多彩な特産物

農林業

元来、東金市を含む九十九里地域は、土地の高低差がないため、日照りが続く土地は荒廃し、雨期になれば水害に見舞われるという農業において最大の難点がありました。そこで、昭和20年代の戦後復興の際、国の一大事業として、九十九里沿岸地域に遠く利根川から水を引くという用水事業が行われました。それが「両総用水」です。市内を縦横にめぐらせた水路は、今でも休まず水を供給し、東金の水田を潤し続けています。

現在、「東金市農業振興地域整備計画」に基づいて、優良農地の保全や、生産性の高い農地を生み出すため、ほ場整備などの土地改良を行い、農業の生産基盤の整備を続けています。引き続き経営規模の拡大、生産性の高い農業経営をめざします。農村集落では、住み良い環境をつくるため、農業集落排水施設や排水路、生活道路などの生活環境基盤の整備を進めています。



産業祭 Industrial Festival

毎年11月下旬に開催。市内各所で作られた野菜、果物、植木や花などの即売が行われ、多くの人でにぎわいます。



緑花木センター Plant Center

『植木の東金』の伝統を守りながら、四季折々の良質の花木を提供しています。



プラム Plums

研究によって独自の技術を確認し、丘山地区で栽培されています。



上：コニファー Conifers

ゴールドクレストに代表される鑑賞用の植木で、ガーデニングなどに使われています。

下：イチゴ Strawberries

古くから水田を利用し、各地で栽培されています。



上：わけぎ Welsh onions

源地区の極楽寺は、県内有数のわけぎの産地となっています。

下：サラダ菜 Lettuce

砂耕栽培により新鮮なサラダ菜を提供しています。



東金市の農業は、生産高が県下第4位の稲作を中心として、露地や施設園芸による野菜、果実の栽培や畜産などが盛んです。県の指定銘柄を受けたネギ、トマト、レタスや県内有数のわけぎやしいたけ、イチゴ、プラム、ブドウなどの農産物、コニファー、洋ラン、バラなどの花木栽培などが、東金の特産物となっています。

また、農業の持つ魅力を広めるため、都市と農村の交流事業を積極的に展開しています。市内の物産品が集う産業祭や農業体験ができる「田んぼの学校」などを行い、農村の活性化を図っています。

山武杉は、住宅の優れた建築材として使われています。250年近い歴史を持つ林業は、東金市を含めた下総台地に位置し、全国的に有名な林業地帯です。今後も需要を喚起するため、山武杉のよさをアピールし、販売促進につとめていきます。



稲作 Rice fields

生産高が千葉県内で第4位の稲作。



上：東金の農業を支えてきた両総用水 Ryoso irrigation canal helps to support Togane's agriculture

佐原から東金を通って茂原まで。水路の総延長は約80キロメートルにも及びます。

下：田んぼの学校 "Rice field school"

農業者が教え、都市部の市民に農作業を体験してもらおうという事業。平成15年に松之郷で第一校が開校しました。



上：しいたけ栽培

Shiitake mushroom cultivation 最近では原木による栽培よりも、菌床(おがくずなどを固めたブロック状の培地)を利用した栽培が主流となっています。

下：山武杉

Sambu cedar 下草刈り、枝打ち、間伐、植林などを行い、森林の維持につとめます。



Togane has been one of the main commercial centers of the Kujukuri region since the Edo Period. It has a diversified economic base, including truck farming (particularly rice and vegetables), forestry, desirable industries (especially at Techno Green Park), and a robust business sector. Its situation as a core economic city continues to attract new industries to the

工業

東金市の工業は、主に電気・精密機械を製造する工場が立ち並び東金・小沼田工業団地、流通センターがある武射田地区などを中心に発展してきました。東金市は、東京都心から50キロメートル圏と良好なアクセス条件を有し、「千葉新産業三角構想」の3拠点、成田空港・幕張新都心・かずさアカデミアパークのほぼ中央に位置し、さらには首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の整備も予定されています。この交通上の優位性を活かして、さらなる工業の振興を図るため、昭和61年に「テクノグリーンタウン構想」を策定しました。この構想に基づき、東金インターチェンジ周辺の小野山田地区に「千葉東テクノグリーンパーク」を造成し、平成9年に分譲を開始。現在、11の企業が操業しています。

また、企業、大学、行政の交流を促進する産官学のネットワークの構築を模索しています。城西国際大学との連携を深めることで試験的にプロジェクトが行われるなど、今後の新たな産業の創出に大きな期待を集めています。



右：小沼田工業団地
Konumata Industrial Park

左：東金工業団地
Togane Industrial Park
現在、二か所の工業団地あわせて27の企業が操業しています。



武射田地区
Muzata district
保管倉庫と物流の機能をあわせ持つ先進の物流センターです。

千葉東テクノグリーンパーク Chiba-higashi Techno Green Park
工場、研究所、ロジスティクスセンター等の機能を備えた複合型の企業団地。



交流の場として活気あふれる商店街

商業

古くから九十九里地域の中心商業地として小売・卸売業の両分野で発展してきた東金市。より安い商品や質の高いサービスを求める消費者の意識の変化や、自家用車を利用して買い物へ出かけるといったライフスタイルの変化など、近年の商業・サービス業を取り巻く環境は、大きく変化しています。

「サンピア」を中心にしたさまざまな店舗が集まっている東金駅東口や国道126号沿線の大規模店舗は、市内外から多くの

人々を集めています。一方で、古くからの商店街は、住民の日常的な買い物の場であるとともに、地域住民のふれあいの場としての役割も果たしています。東金駅西口などの古くからの商店街の活気とにぎわいを取り戻すための支援に取り組んでいます。

また、都市が自立して発展するためには、人々の雇用を確保し、その安定と拡大を図ることが重要です。平成15年に開設された新産業交流プラザ(UBOX)もその事業の一つ。新たなビジネスの可能性と雇用の拡大が期待されています。



サンピアを中心とする東金駅東口
Sunpia forms the core of the Togane Station East Entrance area

大規模店舗が立ち並び
国道126号沿線
Large stores line the way
along National Route 126



上：東金駅西口商店街
Commercial district on the west side of Togane Station

下：新産業交流プラザ(UBOX)
UBOX, a new type of industrial plaza
パソコンスクールの開催や、SOHO支援のレンタルオフィス、パソコンを利用できるPCサロンなどが利用できます。

